



14人の総代から発言がありました

はじめて、総代会に参加しました・・・

堀池 裕子

(こびらい診療所・受付事務)

はじめて「しが健康医療生協」の総代会にオブザーバー参加させていただきましたが、総代のみなさんが診療所の医療や介護事業について、熱心に語っておられたのには感心しました。

6月17日第29回総代会が開催され、活動報告や次年度の活動方針の提案、こびらい生協診療所のリニューアル計画について提案されました。出席総代14人から活動の報告や質問がいただきましたが、紙面の都合により一部ですが紹介します。(編集委員会)

6月からは、ニーズに
応じたリハビリの提供

(通所リハビリテーション
ひまわり・木本さん)

ひまわりのお風呂の老朽化で入浴サービスを終了。6月からは、短時間利用などプログラム内容を変更してスタートしています。午前はしっかり運動をしたい方、午後はゆっくり運動をしたい方に分けて進めています。全スタッフが課題を共有しながら、リハビリを行っています。興味のある方は、スタッフ・ケアマネージャーに声を掛けてください。

こびらい生協診療所の
リニューアルについて

(こびらい生協診療所
副所長・西澤医師)

こびらい生協診療所では、診察室の少なさ、スペースの狭さがネックとなっており、検査や診療にも不便が目につきます。また、研修医の教育や相談業務がしにくい実態があります。

リニューアル計画では、診療室は問診も含めて4部屋、カンファレンスがしやすい環境などを整えたいと考えています。診療所に研修にきている研修医からは「病院は病気を治す所で、ここは病気とともに、人生を充実させる存在」との言葉も頂いております。

7月1日から、金城医師から引き継いで新所長になります。金城先生がいる間に、新たな医師を加えた複数診療の取り組みも、事業所のリニューアルに沿って、進

めて行きたいと考えています。

新たなつながり「にじの広場」
と、組合員さんのがんばり

(しが健康医療生協
組織部・池内 智子)

医療生協の未来作り、こびらい生協診療所の建て替えをやりきるという目標のもと、新たな組合員の参加を広げたい、職員と組合員をつなげたい、班会をしたいとの思いもあり「にじの広場」を開始しました。

職員が持つ資格や特技を活かした内容を中心に10回開催のべ60人の参加でした。場所は栗東に固定せず守山などでも実施したのですが、新しい組合員さんの参加もあり、参加者同士、組合員・職員同士が親しくなり新たなつながりが生まれました。

5月に取り組んだ健康まつりでは、地元の自治会からテントや物品を借りたり、地元の小中学生に開催ポスターの作成依頼。同時に広告も地元企業や地域の歯医者さんなど、それぞれの組合員さんが大きく関わっていただき、成功することが出来ました。